

## 浜岡原子力発電所周辺におけるオオタカ等猛禽類調査の実施について

2011年1月27日

当社は、2009年4月から9月まで、浜岡原子力発電所リブレース計画等に伴う調査の一環として、「浜岡原子力発電所6号機に係る環境影響評価に向けた動物生息状況の予備調査」を実施しました。その調査の結果、浜岡原子力発電所の周辺で「レッドリスト」<sup>※1</sup>等に取り上げられているオオタカ等希少種の猛禽類(もうきんるい)<sup>※2</sup>8種類の飛翔を確認しました。また、オオタカについては、発電所近傍での営巣も確認しました。

このため、営巣状況の変化などを十分に把握しておく必要があること、また、繁殖行動を開始する時期から調査を実施することが有用であることから、浜岡原子力発電所6号機に係る環境影響評価としての調査の前に、自主的に1月28日よりオオタカ等猛禽類調査を行うこととしましたので、お知らせします。

### ◆オオタカ等猛禽類調査の概要

#### 1 調査方法

発電所敷地ならびに敷地周辺(概ね3km以内)において、猛禽類を目視および望遠鏡などで観察し、その飛翔状況や営巣状況などを確認します。

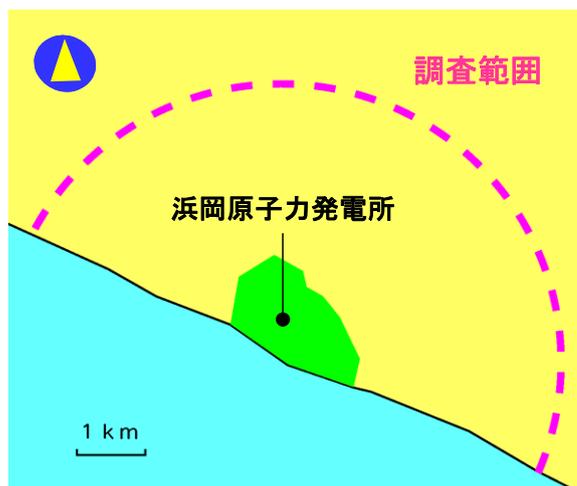
##### 【行動圏調査】

猛禽類の飛翔・とまり・狩り・営巣行動について定点調査を行います。

##### 【営巣状況調査】

猛禽類のうち希少種の営巣が確認された場合は、営巣する希少種の繁殖状況を巣の直近から観察します。

#### 2 調査範囲(予定)



#### 3 調査期間(予定)

2011年1月から当面の間(猛禽類の生息状況が十分に把握できる期間<sup>※3</sup>)

◆これまでにお知らせした内容

・浜岡原子力発電所リプレース計画等について(1,2号機の運転終了および6号機の建設等について)  
(2008年12月22日公表済み。)

・浜岡原子力発電所リプレース計画等に伴う調査の実施について  
(2009年4月10日公表済み。)

※1:「レッドリスト」とは、環境省が、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価し、絶滅のおそれのある種を選定しリストにまとめて公表しているものです。

※2:猛禽類(もうきんるい)とは、鋭い爪やとがったくちばしで、小鳥や小動物を捕食する鳥類の総称で、一般的には、ワシ・タカ・フクロウなどがこれに該当します。また、猛禽類は、生態系において、食物連鎖の頂点に位置する動物です。

※3:「猛禽類保護の進め方」[環境庁(現環境省)が発行しているガイドライン]によれば、「オオタカの行動を明らかにし保護対策を検討するには、営巣地の発見及び少なくとも繁殖が成功した1シーズンを含む2営巣期の調査が望ましい。つまり、2営巣期を含む1.5年以上の調査期間とする。」とされています。

以上